

2019年度 公益社団法人静岡県栄養士会定時総会 議案

日 時 2019年6月1日(土)
10時30分～16時30分
会 場 静岡県男女共同参画センター
あざれあ 6F 大ホール
静岡市駿河区馬淵一丁目17-1

定 時 総 会 次 第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 表 彰 会長表彰
受賞者謝辞
4. 来賓挨拶
5. 講 演
「静岡県の健康課題の現状と取り組み」 (仮)
講師：静岡県 健康福祉部 医療健康局
健康増進課 課長 山野 富美 氏
6. 特別講演
「『料理療法』の提唱 -調理による認知症予防の実践的研究-」
講師：京都教育大学 教育学部 教授 湯川 夏子 先生
7. 議長選出
8. 議事録署名人選出
9. 書記指名
10. 総会成立宣言
11. 議 事
 - (1) 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 平成30年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件
 - (3) 報告事項 2019年度事業執行計画について
 - ① 2019年度事業計画の件
 - ② 2019年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件
 - (4) その他
12. 閉 会

会員各位

深緑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃、正会員・賛助会員の皆様方には、日本栄養士会並びに静岡県栄養士会事業に多大なご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。また、公益法人団体としての25周年記念事業である、式典及び記念誌の発行にあたり、ご協力を賜りました関係各皆様には深く感謝します。

さて、4月1日に248番目となる元号が発表され、2019年5月より「平成」から「令和」となりました。永い歴史の中で一番長く使われた元号は昭和です。そして、昭和は高齢社会を単年で創り上げた時代でもあり、世界各国は昭和の日本国民の和食文化に注視しております。その証が2020年東京で開催される「世界栄養サミット」であります。

また、本年3月には、日本栄養士会の中村丁次会長が宮中で開催された「平成天皇のお茶会」にご招待を受けました。栄養士会の長い歴史の中で我々栄養士の代表が招かれたのは初めてのことです。これも、正しい食が国民の健康と平和を支える基本であり、それを業とする管理栄養士・栄養士への期待が大きいことが示されたことでもあります。

本会2019年度事業では、現代社会に必須な専門事業部別の会員スキルアップ研修の他、超高齢社会を乗り切るための国の政策である第3次「健康日本21」と、県の提示する「ふじのくに健康推進事業に関連する公益事業」を数々取り組んでまいります。中でも、国民・県民にとって最も重要な高齢者対策事業であり、日本栄養士会の指針で全国展開する「よりソリプロジェクト」や「栄養ワンダー2019」、8月4日（栄養の日）を国民に認知いただく「栄養士大会」、そして各都道府県栄養士会で展開する「栄養の日イベント」等々が、理事・運営委員・会員の皆様のご協力により実施されることとなります。今年度も、これらの事業を引き続き行い、医療費・介護費を減少させ、次世代への負担を減じ、多くの国民が健康に生涯を送れることのエビデンスを出し、我々管理栄養士・栄養士の必要度が増すよう事業を展開していきたいと思っております。我々は、科学的根拠に基づき、「正しい食生活」と「栄養の指導」を推奨し、関連多職種や賛助会員と協力し、専門職として益々認知度を高めるよう、地域包括ケア等の公益的事業並びに会員のスキルアップ事業を実施いたしたく、2019年度事業計画に組み込みました。ご理解の上、ご賛同くださいますようお願い申し上げます。

結びに、正会員の皆様の益々のご健勝とご多幸を、そして賛助会員の皆様には貴社の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

2019年5月吉日

公益社団法人 静岡県栄養士会
会長 坪井 厚

第1号議案

平成30年度事業報告

1 公益事業

I 公1 科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 健康栄養知識普及事業

開催日	名称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
6月2日	歯と口の健康大会	御殿場市民会館	小田恵子 日下部郁代	1,462	7
6月10日	第39回健康と歯のフェスティバル	裾野市民文化センター	荻野みづ江	667	237
6月15日	はままつ食育発信店事業	遠鉄ストア 富塚店	上田規江	146	17
6月16日	第13回おやま健康フェスタ	小山町総合体育館	稲 葉子 小田恵子	1,400	200
6月20日	はままつ食育発信店事業	遠鉄ストア フードワン南浅田店	木下初代	177	23
6月22日	はままつ食育発信店事業	ピアゴ浜松泉町店	上田規江	135	22
7月1日	集団がん検診	龍山森林文化会館	森口知世枝	83	83
7月7日	健康フェア	静岡市南部保健福祉センター	成澤好美	251	42
7月21日	健康まつり	静岡市長田保健福祉センター	石垣範子	157	46
7月22日	健康まつり	静岡市北部保健福祉センター	金嶋祐子	913	52

開催日	名 称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
8月4日	森町総合健康検査	森町総合体育館（森アリーナ）	原田陽子	125	86
9月7日	はままつ食育発信店事業	遠鉄ストア 富塚店	上田規江	157	11
9月16日	健康まつり	富士市フィランセ西館	金嶋祐子 矢ノ下聖子	7,500	300
9月16日	健康まつり	富士市フィランセ西館	曾根めぐみ 長田みのり	7,500	260
9月19日	はままつ食育発信店事業	遠鉄ストア フードワン南浅田店	木下初代	194	7
9月21日	はままつ食育発信店事業	ピアゴ浜松泉町店	上田規江	158	40
10月21日	みさくぼふれあい健康福祉まつり	水窪保健福祉センター	森口知世枝 坂口ひろみ	286	164
10月21日	掛川健康フェア	掛川市徳育保健センター	山本さとみ 鈴木順子	2,000	120
10月21日	健康まつり	大里保健福祉センター	金嶋祐子	230	50
10月21日	フェスタ南伊豆	南伊豆町役場 湯けむりホール	大沼美紀子	130	25
10月27日	健康まつり	蘆科保健福祉センター	成澤好美	230	27
10月27日	伊豆市社会福祉大会	修善寺生いききプラザ	宮地あけみ 木内早苗	1,000	100
11月10日	健康まつり	静岡市城東保健福祉センター	村松路子	1,835	46
11月11日	健康フェスタ	伊東市健康福祉センター	西島一恵 稲葉奈美江	513	73
11月11日	健康まつり	東部保健福祉センター	金嶋祐子	1,048	46
11月18日	健康福祉ふれあい広場	東伊豆町保健福祉センター	鶴丸さやか 稲葉杏子	200	62
11月18日	まきのはら産業フェア	牧之原市本通商店街・新町遊ロード内	木村郁代 小野田美津子	18,000	600
11月18日	市民すこやかふれあいまつり	三島市立市民体育館	神尾房子 國武淑子	6,000	84
11月24日	食育フェスタ2018	清水町役場 住民ホール	大場洋子	1,315	132
12月8日	藤枝市スポーツ&健康フェスタ	静岡県立武道館	木村郁代 小野田美津子	2,500	2,500
	計	30	42	56,312	5,462

(2) 健康づくり啓発協力事業

開催日	会 場	内 容	担当栄養士	参加人数
9月16・17日	ツインメッセ静岡	ふじのくにケアフェスタ2018 現場の魅力発信ブースでの栄養士会からの情報提供など 福祉栄養士の仕事内容紹介（パネル展示） 栄養士おすすめメニュー紹介・クイズ 介護食の作り方の動画、パンフレットの提供	田森隆浩・芹澤利幸 杉山智子・清水央子 油井今日子・望月いづみ 漁師恵理子	600
9月30日	沼津市民体育館	ぬまつ健康スポーツ祭 朝ごはんのバランスチェック（食育エプロンとフェルトの食材マスコット使用） 食育クイズの開催 ジュニアスポーツ選手のための栄養ガイドブック、リーフレット等の配布 野菜を食べよう等のタペストリーの掲示	石川映子・西口聖子	88
10月6・7日	ツインメッセ静岡	しずおか元気応援フェア2018 静岡県給食協会と連携し、インボディの測定結果から栄養相談を実施 栄養に関するポスターを展示し、リーフレット等を配布 野菜クイズの展示等	阿多和行・松下亜沙美 小林栄美・高橋玲子 内海智晃・石垣範子 池ヶ山悦子 竹澤いずみ	269
1月11日	プラサヴェルデ	しずおか健康づくりサポーター連携・協働のつどい（東部会場） 減塩をテーマに、食塩控えめの味噌汁 （塩分濃度1%未満の鰹だしをきかせたもの）を来場者に提供 自宅の味噌汁の塩分濃度を振り返る機会を提供し、減塩への関心向上 減塩啓発のパネル展示及びリーフレット・レシピの配布 中食や外食での減塩のポイントを掲示	矢ノ下聖子	80
2月23・24日	プラサヴェルデ	ふじのくに食と花の都の祭典 だしを取る実演、取っただしの試飲 だしの風味を味わえる料理の試食 だしの種類やだしの取り方の紹介 パンフレット配布	白石明子 山下祐美 他	750

(3) 在宅介護者食生活支援研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
1月18日	掛川市 徳育保健センター	「食べる楽しみ」を続けよう！ 高齢者の在宅での食事ってどうすればいいの？		22
		講話1 今日からできる飲み込み支援 体験 元気な体はお口から 講話2 みんなどうしているの？ 在宅での介護食 演習① バッククッキングの作り方 演習② 介護食へのアレンジ法	掛川東病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 渡邊 良平 氏 歯科衛生士 瀬川 明美 氏 看護小規模多機能型居宅介護施設「とうか」 管理栄養士 加藤 百合子 氏 管理栄養士 高梨 恵子 氏	

(4) しずおか健幸惣菜レシピ募集等業務【静岡県健康増進課委託事業】

静岡県は平成29年度から地域、企業、家庭における健康づくりを推進する「しずおか”まるごと”健康経営プロジェクト」を展開している。この事業の一環として、働き盛り世代の食環境を支援することを目的に、企業の社員食堂や給食関係施設、スーパー等の惣菜において健康に配慮したメニューを広めることにより、それらを多く利用している働き盛り世代が望ましい食生活を実現できるよう環境整備を行うための事業。

①「しずおか健幸惣菜」～夏版～ 選定の基準検討会の開催
 「しずおか健幸惣菜レシピ」の募集に向けて「しずおか健幸惣菜」選定の基準の検討を行うと共に、「しずおか健幸惣菜レシピ」～夏版～の普及方法等について検討を行った。

検討会開催日：第1回 11月29日
 第2回 2月18日
 検討会委員：静岡県立大学 食品栄養科学部 栄養生命学科 教授 市川陽子 氏
 常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 准教授 川上栄子 氏
 惣菜製造関係者、事業所給食関係者、静岡県健康福祉部理事等 8名

②「しずおか健幸惣菜」の募集・選定
 募集要領を作成し、静岡県内の給食施設、弁当業者、スーパー等を対象に、募集を行った。
 募集期間：8月16日～9月30日
 応募レシピ数：39
 選定レシピ数：29

③「しずおか健幸惣菜レシピ集」～夏版～ 原稿の作成
 12月18日(月)調理実習：応募レシピの試作、料理写真撮り（応募者によるレシピの調理方法、食材の分量）

- ・レシピのコメント作成
- ・レシピの栄養価計算
- ・レシピの原稿作成

(5) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

食品表示法施行（平成27年4月）による加工食品の栄養成分表示義務化に伴い、一般県民及び食品加工業者を対象として制度の普及啓発を行った。
 一般県民に向けては、普及啓発用リーフレットを11,000部作成し、講話を行った。
 食品加工業者に対しては、講習会用テキストを450部作成し、県内3ヵ所で講習会を開催した。

開催日	会場	内容	講師等	参加人数
5月21日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食品表示制度説明会 (静岡県健康づくり食生活推進協議会総会)	会長 坪井 厚 氏	309
11月9日	島田市民総合施設 プラザおおるり	静岡県栄養成分表示作成講習会 ・食品表示制度について ・栄養成分表示の算出方法について ・栄養成分表示の表示方法について	【講師】 静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生命科学科 教授 市川陽子 氏 東海大学短期大学部 食物栄養学科 助教 遠藤泰子 氏	57
11月9日	静岡県総合健康センター			55
1月18日	静岡県コンベンション アーツセンター グランシップ		【助手】 理事 池谷広美 氏 石垣範子 氏 事務局 安倍由起子 氏	85

(6) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

実施時期	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
4～2月	富士宮市内飲食店	富士宮市食のまちぐるめガイド2018の配布 (地場産品探検ツアー)	竹川美江・芦澤裕子 望月綾子・金塚円花・中野英美 若林恭子・田山恵子 長田みのり・渡邊光世	76店舗
	マックスバリュ東海 株 富士宮市内店舗	小学生3年生～6年生を対象に店舗にて三色食品群について説明し朝食の大切さを知る。 地場産の食材を知りクイズ形式で買い物ツアー、スーパーのバックヤードの見学も行った。	田山恵子・芦澤裕子 金塚円花・中野英美 若林恭子・竹川美江	3店舗 朝日町店10名 万野原店8名 岩宮店7名
	市内飲食店	〈健康を考えるランチセミナー〉2回 「健康な食事」に関する講話と地産地消メニューの会食・フレンチコワン20名・フォレストヒルズ50名	若林恭子・田山恵子 竹川美江・中野英美	2店舗

(7) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
6～2月	静岡県内の飲食施設	店頭商品の栄養価計算 栄養成分表示の指導	地域活動事業部 稲葉京子 内野幸子・金塚円花 渡邊恵美子・佐野ちえみ 山内千代香・原田陽子	東部 5 中部 3 西部 1

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加人数
10月3日	静岡県立田方農業高等学校	高校生を対象とした講習会 ①健康な食事について考える 講話 ②主食・主菜・副菜をそろえた調理実習	石川映子・石井浩子・池谷広美	26
11月13日	静岡県立田方農業高等学校		石川映子・石井浩子・池谷広美	26
11月1日	静岡県立松崎高校		佐野ちえみ・石川映子	15
11月2日	静岡県立富岳館高等学校		若林恭子・中野英美	18
11月6日	富士市立高等学校		若林恭子・中野英美	18
12月12日	静岡県立御殿場高等学校		小田恵子・池谷広美	11
10月29日	静岡県立金谷高校		大村雅子・渡邊恵美子・飯島百恵	21
10月31日	静岡県立金谷高校		大村雅子・渡邊恵美子・杉山貴紀	29
9月13日	静岡県立小笠高校		川上栄子・宇佐美暢子	39
11月30日	静岡県立横須賀高等学校		荻田博子・石神節子・喜多聡美	34
5～2月	東部、中部、西部の 学校及び健康まつり 等のイベント会場	外食推進ガイドブック「副菜(野菜料理)お“ひとつ”召し上がれ」を活用し、食事バランスガイドの普及啓発活動を実施した。	配布会場33箇所	配付数 2,936冊
	県立高等学校講座 ・健康まつり等	新しい「健康な食事」を考える管理栄養士・栄養士がすすめる料理の冊子を高校の講座に活用し、その他、一般消費者への普及にも努めた。(健康まつり等の会場)	配布会場57箇所	配付数 2,328冊

(9) 栄養ケア・ステーション推進事業

登録者数	管理栄養士 226名 ・ 栄養士 27名	計 253名
------	----------------------	--------

①静岡市静岡医師会との定例会議

第1回	開催日：7月9日 会場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会(坪井会長・新井副会長・久保田理事・鈴木理事・森田久美子会員・事務局鈴木) 静岡医師会(袴田会長・福地副会長・鈴木理事・吹田理事・飯室理事・事務局鈴木) 内容：診療報酬改定に関する情報提供 合同研修会について(テーマ及び講師等)
第2回	開催日：1月15日 会場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会(坪井会長・久保田理事・鈴木理事・森田久美子会員) 静岡医師会(袴田会長・福地副会長・鈴木理事・吹田理事・飯室理事・事務局鈴木) 内容：合同研修会の報告と今後について 栄養食事指導、訪問栄養指導の業務担当可能な栄養士の把握について協議
「静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会」 開催日：10月26日 会場：静岡市静岡医師会館 参加者：医師会関係28名、栄養士会会員40名 計68名 内容：演題「身体を守る免疫の話 ～乳酸菌の健康効果～」 講師 順天堂大学 准教授 竹田和佳氏	

②受託事業

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
特定保健指導	13	106	106	(株)ホームナース	トヨタ販売連合健康保険組合 トエネック健康保険組合 スズケン健康保険組合 倉敷紡績健康保険組合 福山通運健康保険組合 面談・電話支援 (98人)
	17	65	75	テンプスタッフ・ライフサポート㈱ 社名変更: パーソルワークスデザイン㈱	ホンダ健康保険組合 (ショーワ浅羽工場・ ショーワ御殿場第一工場・ ショーワ御殿場第二工場・ ホンダロジスティクス静岡) 旭化成健康保険組合 (旭化成(株)富士支社) 面談 (233人)
	1	34	37	特種東海健康保険組合	島田工場 初回・中間面談・電話支援 (39人)
	1	3	1	静岡県医師国民健康保険組合	診療所の職員 面談 (1人)
小計	32	208	219		
病態栄養 食事指導	1	1	1	富士市難病患者・家族連絡会	難病患者総合相談会での個別栄養相談 (2人)
	1	41	41	富士通㈱沼津工場	個別栄養食事指導 (386人)
	4	4	7	静岡県腎友会	市民健康セミナー・東・中・西部料理講習会(98人)
	1	1	1	静岡県立総合病院地域医療 ネットワークセンター	慢性期医療を考えるの講演
	8	11	11	ホトニクス・グループ健保	病態栄養食事指導(個別・集団) (23人)
小計	15	58	61		
在宅介護支援	27	27	27	浜松市	浜松市栄養改善普及啓発事業 (673人)
	6	8	8	(株)ホームナース	前期高齢者訪問相談事業 (6人)
	1	1	1	地域包括支援センター三方原	介護家族教室 (15人)
小計	34	36	36		
食育支援	35	33	33	静岡市	あそび・子育ておしゃべりサロン事業 (市内こども園:未就園児対象) (332人)
	46	42	42	一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会	5 A DAY食育プログラム・食育体験学習 大型スーパーの食体験ツアー講師(1,013人)
	6	5	10	静岡県牛乳普及協会	骨密度測定会後の栄養相談 (1,012人)
	6	6	6	大塚製薬㈱	講演「ウエルネスセミナー」 (260人)
	1	1		菊川保育園	保育園担当の研究課題の指導アドバイス
	1	1	1	曳馬協働センター	育孫講座 (14人)
	1	1	2	島田地区保育所連合会給食部会	アレルギー食レシピ調理指導 (23人)
	1	1	1	駿府学園	在院生対象の食育講座 (20人)
	1	1	2	しずおか健康長寿財団	ベビーフェスタでの栄養指導 (46人)
小計	98	91	97		
食と健康支援	1	1	1	静岡県生活衛生営業指導センター	調理師養成施設の学生向け講演講師 (55人)
	1	7	7	ホトニクス・グループ健保	ホームページ掲載レシピ
	11	39	39	日本盲導犬協会富士ハーネス	施設利用訓練者の食事調理・提供 (26人)
	1	1	1	飯田生涯学習交流館	魚缶詰を使った調理実習 (16人)
	3	3	3	公益社団法人静岡県薬剤師会	健康サポート薬局のための技能講習 (290人)
	1	2	2	明光会	知的障害者居宅介護職員初任者研修講師 (10人)
	2	2	2	静岡県健康増進課	ふじのくに健康づくりアドバイザー事業 健康施策研修(公衆栄養研修) (50人)
	1	15	15	静岡県食品衛生協会	調理師試験準備講習会 講師 (289人)
	1	1	1	静岡日本平ロータリークラブ	「若さを保つ食生活」講演講師 (41人)
	1	1	1	静鉄ストア	鉄板焼き甲子園2次審査
	1	1	1	公益社団法人日本栄養士会	栄養ワンダー(イオン市野) (66人)
	2	21	39	(株)建築資料研究社	高齢者スキルアップ就職促進事業 (13人)
	1	1	1	協会けんぽ	健康保険委員会における講演会
	1	1	1	石田缶詰㈱	県まるごと健康づくり推進事業 (31人)
	3	3	3	(株)トップアスリート	マイナビ進学FESTA社会人アドバイザー (47人)
小計	31	99	117		
外食栄養成分表示	0	0	0		
小計	0	0	0		
合計	210	492	530		
その他	取材:静岡朝日テレビ4件、静岡新聞社1件 等				

③支部報告（2018年10月 地域包括ケアについて設立）

支部名	相談件数	依頼件数	紹介者数
東部支部			
中部支部	1件	3件	3人
西部支部			

④職業紹介事業

求人数（本年度新規）	59件
求職者数（本年度新規）	11名
職業紹介者数	8名
雇用契約成立数	5件

（10）広報事業

開催日	内容（広報部）	回数等	内容（情報管理）	回数等
4～3月	広報部会	2回	受信メール処理件数	7,004件
	メール部会	0回	送信メール処理件数	5,512件
	ホームページ更新（月2回）	22回	研修会、交流会等のWeb受付数 【研修会、交流会の申込み 全体 2,946名】	55件 1,286名 (全体の約45.7%)
	メールマガジン配信（月2回）	22回		
	栄養士がすすめるメニュー応募数	4件	メールマガジン登録者数(新規登録者数)	761名(106名)
	ホームページアクセス数	17,017件		

II 公2 県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の

（1）定時総会講演会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月9日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	「企業の健康経営と生活習慣病予防～組織のヘルスリテラシーを高めるために～」	順天堂大学 医学部総合診療科 准教授 福田 洋 氏	141
		「静岡県の健康課題の現状と取り組み」	静岡県 健康福祉部健康増進課 課長 小嶋由美 氏	143
		「管理栄養士・栄養士に関わる診療報酬・介護報酬」	青森県立保健福祉大学 健康科学部栄養学科 准教授 齋藤長徳 氏	145

（2）栄養士交流会

開催日	会場	目的	内容	参加人数
2月3日	【東部ブロック】 日本大学短期大学部	①非会員にも参加を呼び掛け、静岡県栄養士会がどのような活動をしているか自作のDVD等により周知し、理解を深める。	研修会終了後に開催した。 職域を超えて栄養士相互のつながりを深める 自分の仕事での悩み、課題などについて、意見交換 他	24
10月6日	【中部ブロック】 静岡県男女共同参画センターあざれあ	②管理栄養士・栄養士の資質の向上に向けた研修会申込方法などを理解する。	研修会終了後に開催した。栄養士会より理事を招き、活動内容、事業部紹介などをスライドを使用して実施した。 その後、3つのグループに分かれ、自己紹介を行い、普段の栄養士業務における問題点などを出し合い、意見交換会を行った。	30
9月1日	【西部ブロック】 浜松市福祉交流センター	③同じ分野及び年代を超えて活動する仲間づくり、情報共有をする。	西部ブロック研修会終了後に、「近くの栄養士、管理栄養士を知ろう」をテーマに、栄養士会の活動・各事業部・地区研修会の紹介などを行い、情報交換を行った。	34

(3) 静岡県栄養士大会学術研究会・交流会

開催日	会 場	ポスター発表内容	発表者	参加人数
2月23日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	①美味しいとは何か?～理詰めから始まる感動～	岩田理沙/田森稔浩	103
		②大学女子運動選手における運動直後栄養摂取実用性の検討について	小山ゆう	
		③幼児期・学童期におけるてんかん食の現状と問題点	竹浪千景	
		④介護予防における訪問栄養指導の実例について	石井浩子	
		⑤牧之原市におけるBMI区分と食物摂取頻度調査による妊娠初期の栄養調査	柳原佳奈	
		⑥医療機関と連携した重症化予防事業への管理栄養士の関わり	塩谷祐実	
		⑦当院摂食チームにおける管理栄養士の食支援	八木佳子	
		⑧栄養ケア・ステーションに東部・西部支部ができました!	寺田直哉	
		⑨外來心臓リハビリテーションにおける栄養指導の取り組みとその効果	野崎彩	
		⑩精神科デイケアにおける料理教室の取り組み	石原美咲	
		⑪しずおか健康惣菜レシピ作成の取り組み	上田規江	
		⑫24時間蓄尿結果から得られたナトリウム/カリウム比率についての一考察	米倉登美代	
		⑬回復期リハビリテーション病棟における栄養状態再評価システム確立への取り組み	浅村碧	
		⑭認知症患者に管理栄養士がどう関わっていくか ～認知症ケアチームの活動を通して～	鈴木愛実	
		⑮食物アレルギーの現状と課題 静岡県アレルギー疾患医療拠点病院としての取り組み	鈴木恭子	
		⑯学校給食の衛生管理について	大塚美和子	
		⑰事業所給食施設における体格把握を中心とした指導の評価と今後の支援について	田中志帆子	
		⑱当院における食物アレルギー児の栄養食事指導	松尾亜梨紗	
		⑲健康管理アプリ「とりけあ」の開発	伊藤梓美	

(4) 生涯教育基本研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
9月9日	静岡県立大学	栄養ケアプロセス研修会4-1 (DVD)		13
		栄養ケアプロセス研修会4-2 (DVD)		8
		栄養ケアプロセス研修会4-3 (DVD)		13
		栄養ケアプロセス研修会4-4 (DVD)		16
		栄養ケアプロセス研修会4-5 (DVD)		9
		栄養ケアプロセス研修会4-10 (DVD)		9
11月25日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	多職種等との連携・地域連携	(公社)静岡県栄養士会理事 地域活動事業部長 若林恭子 氏	31

(5) 生涯教育実務研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
7月7日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	栄養ケア寄り添い型ソリューション(よりそりプロジェクト)指導者研修会DVD研修および演習	よりそりプロジェクト ワーキングメンバー	24
7月22日	日本大学三島校舎	パワーポイントによる媒体作成研修会	日本大学短期大学部食物栄養学科 准教授 篠原啓子 氏	8
8月4日	サーラシティ浜松	ガッテン流!! 健康生活の極意 8月4日は栄養の日、栄養のたのしみ方を提案!	元 NHK科学・環境番組部専任 ディレクター 北折 一 氏	110
		腸内フローラと健康 腸内環境を整えて元気で長生き	(株)ヤクルト本社 広報室 特別参与・博士 三毛明人 氏	
8月19日	静岡市立静岡病院	栄養情報提供書を学ぼう①・②	(公社)日本栄養士会医療事業部 常任企画運営委員 宮崎純一 氏	63
8月25日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	学校における食育の評価 目標設定のポイント	お茶の水女子大学 教授 赤松利恵 氏	27

開催日	会場	内容	講師	参加人数
9月29日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	「栄養管理」研修会 サルコペニアの診断・治療をどうすべきか？ サルコペニアのモヤモヤ	ちゅうざん病院 副院長 吉田貞夫氏	87
		低栄養の病態への新たな理解 その患者さんはサルコペニア？カヘキシア？ダイナペニア？フレイルティ？		87
10月28日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	栄養診断	臨床栄養実践協会 理事長 足立香代子氏	128
		認知症機能低下予防のための身体活動とその効果（コグニサイズ）	国立長寿医療研究センター 土井剛彦氏	130
		変わり始めた病態を踏まえた栄養管理	臨床栄養実践協会 理事長 足立香代子氏	133
11月25日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	地域に根ざした食育	NPO法人こどもの森 理事長 吉田隆子氏	33
2月2日	浜松医大病院	栄養ケア寄り添い型ソリューション事業（よりソリプロジェクト）研修会	日本栄養士会よりソリプロジェクト ワーキングメンバー	15
2月23日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	がん患者の食事と栄養	静岡県立静岡がんセンター 栄養室長 稲野利美氏	94
		第4回静岡県栄養士大会 学術研究会・交流会		103

(6) 福祉寺子屋

開催日	会場	内容	担当者	参加人数
4月29日	静岡県栄養士会事務所	栄養ケアマネジメントの考え方・提供方法・食育などのグループワーク	福祉事業部 理事・運営委員	9
1月13日	静岡県栄養士会事務所	栄養ケアマネジメントの考え方・提供方法・食育などのグループワーク		13

(7) 平成30年度介護報酬改定（栄養関連）に関する伝達研修会

開催日	会場	内容	講師及び担当者	参加人数
6月30日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	平成30年度介護報酬改定により、入所施設での栄養関連部分に新設の加算導入や栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリングの新様式への変更が行われたことの情報伝達	副事業部長・理事 寺田直哉氏 福祉事業部・運営委員	48 会員外14

(8) 地区別健康づくり推進研修会

①地区代表者会議：参加者（各地区代表者、副会長、地区事業部理事、研修部理事）

開催日	議事内容
4月22日	①平成29年度地区別健康づくり研修会報告について 各地区の研修会等の報告 アンケート「地区研修会のあり方について」の報告 ②地区別健康づくり研修会 今年度の事業計画について 各地区の研修会等の予定 ③事業報告書類及び会計報告について

②ブロック研修会

地区	開催日・会場	内容	講師	参加人数
東部 ブロック	2月3日 日本大学短期大学部	栄養ケア寄り添い型ソリューション事業（DVD研修）	静岡県健康福祉部長寿政策課 課長 杉山勝氏	31
		地域ケア会議の現状と課題		30
		モデル症例検討		26
中部 ブロック	10月6日 静岡県男女共同参画センター あざれあ	生化学で学ぶ～エネルギーを知るしくみ 蛋白質・脂質の代謝～	静岡大学 名誉教授 森誠氏	61
西部 ブロック	9月1日 浜松市福祉交流センター	がん患者に対する栄養管理について ～患者さんの笑顔のために～	浜松医科大学臨床腫瘍学講座 特任助教 平出高乗氏	55

③各地区の研修会

地区	開催日・会場	内容	講師	参加人数
東伊豆・ 賀茂	3月7日 熱海総合福祉センター	情報交換会（自治体で行われている事業の紹介、他職種団体の活動状況、地域の食に関する勉強会等の情報交換を行い、今後のこの地域での地区研修会の在り方について、話し合いを行った。） ・交流会		15

地区	開催日・会場	内容	講師	参加人数
田方	2月16日 伊豆長岡あやめ会館	「フレイル予防の栄養管理」～感染性胃腸炎に対する経口保水治療法～	大塚製薬株式会社 徳永裕道	10
東部	8月5日 裾野市民文化センター	栄養診断に基づいた管理計画（栄養介入（DVD研修）		11
	11月3日 〃	栄養ケア寄り添い型ソリューション事（DVD研修）		7
富士・富士宮	10月13日 富士いきいき病院	災害時の栄養支援について ＜交流会＞今後実践したい災害対策について、グループワーク、栄養士会の活動紹介等	伊東市役所教育総務課教育政策係 主幹 小川保人氏	26
	11月11日 生涯学習交流館	小児の食物アレルギー	静岡県立こども病院栄養管理室 室長補佐 鈴木恭子氏	17
中部	9月26日 あざれあ	スギ花粉症状と舌下免疫療法	J A静岡厚生連静岡厚生病院耳鼻咽喉科診療部長 大輪達仁氏	22
志太・榛原	6月29日 10月2日 藤枝市生涯学習センター	透析患者だけではなく！リン管理の重要性① 透析患者だけではなく！リン管理の重要性②	静岡県立大学食品栄養科学部 教授 新井英一氏	34 27
	10月23日 袋井市月見の里学遊館	糖尿病の原因と対策 ＜交流会＞医療・地域・福祉・その他の4グループに分かれて自己紹介・栄養士業務についての交流会	静岡大学健診センター長 教授 山本裕之氏（糖尿病専門医）	32
西部	7月20日 浜松市福祉交流センター	災害に備える「栄養士会災害支援チーム（DAT）の活動について」 想定災害を数例提示し、それぞれの災害時に「自分ができる行動は何か？」について意見交換した。	浜松医科大学医学部付属病院 栄養部副部長 渡邊 潤氏	19

④地域住民への健康づくり啓発活動

地区	開催日・会場	内容	従事者数
東伊豆・賀茂	10月28日	「東伊豆 奈良本ウォーキング」へ参加【参加者 約200名】 町のイベントの中で、ウォーキング後に骨密度測定や健康メニューの試食を行う会場で実施。 そのまんま料理カードを使った「食事バランスチェック」「お塩の取り方チェック」 ソルセイブによる味覚チェックの結果説明 他	4
田方	10月27日 修善寺生いきいプラザ	「伊豆市社会福祉大会」へ参加【参加者 約1,500名 うちブース立寄り 約150名】 テーマ「フレイルを予防しよう」 フレイルに関する掲示物、フレイル関連試供品の配布、試食「タンパク質を手軽に」（約130名） 栄養相談	3
中部	11月23日 静岡市農協安東支店	「JA静岡市安東支店農業祭」へ参加【参加者 約220名 うち栄養相談23名】 生活習慣病（糖尿病・脂質異常症・高血圧・高尿酸血症）における食生活相談 野菜に関する話とクイズ、塩分管理についての説明などを行った。	4
志太・榛原	①10月28日 吉田町健康福祉センター	吉田町ふれあい広場、まきのほら産産フェアへ参加 テーマ みんなで減塩	6
	②11月18日 牧之原市相良町商店街	内容 ①食品に含まれる食塩量を知ろう②試食：炊き込みカレーピラフ③クイズ ④栄養相談 他 【吉田町：参加者約2,600名 うち栄養相談等250名、牧之原市：参加者約18,000名 うち栄養相談等600名】	6
中東遠	11月11日 袋井市メロプラザ 浅羽保健センター	ふれあい夢市場健康まつりへ参加 袋井市浅羽健康センター（袋井市ふれあい夢市場実行委員会：浅羽商工会）主催 【参加者 約1,061名 うちブース立寄り 約360名】 大豆粉パンケーキの試食（280名分）・糖のクイズ 豆本（100部）・健康食（200部）の冊子配布・栄養相談 健康意識調査アンケート実施（240名）	10
西部	2月9・10日 浜松市高台協働センター	「高台協働センターまつり」へ参加【参加者 約100名】 野菜の適量摂取を解説したパネル展示及び実物展示。 JDA-DATの活動、赤ちゃん防災プロジェクトを紹介したパネル展示および非常食サンプル配布。 生活習慣病・バランスの良い食生活のためのレシピ集などのパンフレット・リーフレットの配布及び栄養相談、子どものお箸の正しい使い方体験（豆はこびゲーム）。	5

（9）災害時栄養支援事業

静岡県栄養士会は、平成25年5月10日災害対策基本法第2条第6号に基づく「指定地方公共機関」の指定を受け、災害支援体制の整備構築を図っている。

会議開催状況	内容
静栄DAT運営会議 第13回：5月21日 第14回：9月8日 （運営委員11名）	本年度スタッフ養成研修会の内容について 来年度以降のスタッフ養成研修会の方向性について JDA-DATリーダー養成研修会派遣および受講助奨について JDA-DATリーダーダースキルアップ研修の受講助奨について メールマガジンの配信開始について 災害支援普及事業チラシの作成について スタッフ管理について
静栄DATスタッフ登録	登録者数123名（平成31年3月31日現在）
研修会への派遣および受講助奨	9月15日～17日 静栄派遣 三浦智広 館石知美 静栄派遣外（自費等） 江間章子 石垣範子 關 恭子 池谷広美 リーダー登録者数 22名（平成31年3月31日現在）

災害時栄養支援研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
9月8日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	災害時栄養支援スタッフ養成研修会		43
		静岡県の防災対策の現状	静岡県危機管理部危機対策課	
		DATの活動を知り、災害時に自分は何ができるかを考える	静栄DAT運営委員	

2 収益事業

収1 販売等の収益事業

特定保健指導用資料を販売した。

・100Kcalマメブック、目標シール、歩数計等

3 会の運営に関する事項

(1) 定時総会開催

開催日	会場	出席会員数	議案事項
6月9日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	過半数を超えているので成立 出席者 139名 書面による表決 685名 計 824名 (正会員総数 1,432名)	平成29年度事業報告承認の件 平成29年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 平成30年度事業計画の件 平成30年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件

(2) 理事会開催状況

開催日	会場	出席人数	議事内容
第1回 4月22日	静岡県栄養士会事務所	16	平成29年度事業報告及び決算の承認について 平成30年度定時総会の運営について 静岡県栄養士会法人設立記念事業について 生涯教育研修計画について 8月4日（栄養の日、栄養週間）での広報イベント事業について 表彰候補者の推薦について 他
第2回 6月9日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	21	代表理事（会長・副会長）の選任について 理事の役割分担について
第3回 7月16日	静岡県栄養士会事務所	22	研修部平成30年度後期事業について 静岡県栄養士会法人設立記念事業（25周年記念式典）について 東海北陸地区会長等合同会議について 静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会共催による合同研修会について 会員名簿作成について 広報部事業について 他
第4回 9月22日	静岡県栄養士会事務所	20	各事業部からの前期活動報告について 静栄「栄養ケア・ステーション」の今後の運営について 静栄DATの活動報告について 第4回静岡県栄養士大会について 平成30年度予算編成について 2019年度の当会担当の東海北陸地区会長等合同会議について ホームページ改定について 次回会員名簿作成について 平成30年度新入会員名簿、会員数について
第5回 12月9日	静岡県栄養士会事務所	20	第4回静岡県栄養士大会について 2019年度定時総会について 2019年度生涯教育基本及び実務研修について 静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会共催による合同研修会報告について 静栄「栄養ケア・ステーション」の今後の運営について 2019年度予算申請の取りまとめ状況について 日栄の業務支援システムの変更について
第6回 1月27日	静岡県栄養士会事務所	19	日本栄養士会よりソリプロジェクト事業について 2019年度の予算編成について 2019年度研修計画について 栄養ケア・ステーション部の活動報告について 委託事業の状況報告について 第4回静岡県栄養士大会の運営について 生涯教育研修会（基本・実務）の今後の運営について
第7回 3月10日	静岡県栄養士会事務所	19	2019年度事業計画及び予算案の承認について 2019年度定時総会・講演会について 第4回静岡県栄養士大会（学術研究会及び交流会）の開催報告について 2019年度生涯教育基本及び実務研修について 2019年度委託事業について 2019年度の地区事業部について 「栄養ワンダー2019」について 他 新しい業務支援システムについて

(3) 年間活動報告

①公益社団法人日本栄養士会定時総会

平成30年6月23・24日【会場：東京】
出席代議員：坪井 厚、鈴木眞理子、木下初代、新井英一、若林恭子、久保田美保子、田森稔浩

②公益社団法人日本栄養士会 諮問会議

第1回：平成30年5月12・13日 第2回：平成31年2月16・17日 【会場：東京】
出席者：坪井 厚

③東海北陸地区会長等合同会議

平成30年12月15日～16日【会場：富山県】
出席者：坪井 厚、木下初代、新井英一、日置朝子、鈴木眞理子

④公益社団法人日本栄養士会職域事業部全国代表者会議・研修会などへの派遣

職域名	開催日	開催地	名 称	氏 名	
医 療	4月21・22日	東京	病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	岡本康子	久保田美保子
	8月25日	名古屋	第1回東海北陸地区リーダー育成研修会	久保田美保子	渡邊 潤
	2月2・3日	岐阜	第2回東海北陸地区リーダー育成研修会	久保田美保子	渡邊 潤
学校健康教育	11月23日	東京	学校健康教育事業部全国リーダー研修会	大塚美和子	
	11月24・25日	東京	学校健康教育事業部全国研修会	大塚美和子	伊奈恵子
勤労者支援	10月27日	東京	勤労者支援事業部全国リーダー研修会	矢ノ下聖子	
研究教育	2月24日	東京	研究教育事業部全国リーダー研修会	篠原啓子	
公衆衛生	4月14日	東京	全国行政栄養士育成のための全国リーダー研修会	辻井博美	
地域活動	7月29日	横浜	地域活動事業部スキルアップ研修会	池谷広美	
	7月8・9日	金沢	地域活動事業部東海北陸ブロック研修会	若林恭子	木下初代
	11月9・10日	仙台	地域活動事業部全国リーダー研修会及び公衆栄養活動研究会	若林恭子	上田規江
福 祉	4月23日	東京	日福祉事業部スキルアップ研修会	寺田直哉	
	10月27日	東京	全国福祉栄養士研修会	関 明子	杉山智子
	2月23日	東京	福祉事業部全国リーダー研修会	田森稔浩	

⑤他団体との連携（会長・及び副会長・事務局長出席）

内 容	参加者	開 催 日		
静岡県健康づくり食生活推進協議会総会	会長	5/21		
静岡県給食協会総会、他	会長	6/29	1/21	
静岡県薬剤師会研修会、他	会長	7/1	11/11	
静岡市静岡医師会定期会議、合同勉強会 他	会長・副会長	7/9	10/26	1/6
8020推進静岡県大会、住民会議、部会	会長	7/10	10/2	3/7
静岡県がん診療連携協議会支持療法部会	会長	7/13	10/25	2/2
静岡県腎友会定期大会	会長	7/15		
静岡県地域包括ケア推進ネットワーク会議	会長	7/24		
ふじのくに食育コンテスト	会長	8/8		
静岡市食育推進会議	会長	8/29	2/21	
静岡県牛乳普及協会 料理コンクール審査、他	会長	9/20	10/7	
日本看護協会全国大会（静岡県看護協会担当）	会長	9/29		
静岡県健康福祉大会	会長	10/25		
浜松市歯科衛生士との会議	副会長	11/8		
浜松市病院相談員と多職種との意見交換会	副会長	11/21		
静岡県健康保険委員大会	会長	11/28		
日本在宅看護学会	会長	12/8		
韓国・静岡県友好料理教室・挨拶	会長	12/18		
静岡県特定保健会議	会長	2/7		
ふじ33プログラム「歯と口の部会」	会長	2/10		
静岡高血圧学会「減塩フォーラム」	会長	2/10		
静岡県母性委員会総会	会長	2/15		
静岡栄養・代謝の集い	会長	3/16		
静岡県男女共同参画推進会議及び講演会等	事務局長	8/27	2/11	3/6

⑥表彰に関する事項

表彰日	項 目	内 容	受賞者
6月3日	静岡県栄養士会	栄養指導業務功労者	渡邊榮子 他27名
10月25日	静岡県知事	保健衛生団体の役員	久保田美保子
		栄養指導業務功労者	鈴木眞理子 石垣範子
7月28日	厚生労働大臣	栄養改善業務功労者	吉田隆子
		栄養指導業務功労者	今泉美津子 渡邊恵美子
7月28日	日本栄養士会	会長表彰(25年業務貢献者)	小野睦世 他23名
		会長表彰(役員歴6年以上)	新井英一
		会長表彰(50年業務貢献者)	米嶋トシ子 他4名
2月25日	日本公衆衛生協会	公衆衛生事業功労者	米倉登美代

(4) 会員の状況 (平成31年3月31日現在)

①名誉会員 2名

②正会員 (会費納入人数)

継続会員	1,289名
新入会員	127名
計	1,416名

職域事業部別会員数(※名誉会員は含まない)

医療	学校健康教育	勤労者支援	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
525名	91名	34名	50名	117名	248名	331名	1,416名

◎会員増に向けての取り組み状況

- i 「メールマガジン会員制度」 (平成18年度から実施)
(再掲) メールマガジン登録者 761名 (平成30年度末)
- ii 「お友達紹介制度」 (平成25年度から実施)
平成30年度 制度利用の入会者 10名
- iii 「栄養士交流会」の開催
非会員にも参加を呼び掛け、県内東部、中部、西部の地区ごとに「交流会」を開催し、
栄養士会の運営及び事業等について理解を深めてもらい、入会を勧めた。
また、情報交換など交流を図り、仲間づくりの応援をした。

③賛助会員 63社

貸借対照表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,413,516	16,176,047	2,237,469
未収金	1,200,000	1,215,000	△ 15,000
貯蔵品	30,820	48,308	△ 17,488
前払金	119,238	119,238	0
仮払金	39,270	23,600	15,670
流動資産合計	19,802,844	17,582,193	2,220,651
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
災害支援積立預金	150,011	100,003	50,008
記念事業積立預金	1,755,322	1,712,600	42,722
特定資産合計	1,905,333	1,812,603	92,730
(3) その他固定資産			
什器備品	3	3	0
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	306,000	306,000	0
その他固定資産合計	378,803	378,803	0
固定資産合計	2,284,136	2,191,406	92,730
資産合計	22,086,980	19,773,599	2,313,381
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	7,467,000	7,818,500	△ 351,500
預り金	5,817,000	3,221,000	2,596,000
流動負債合計	13,284,000	11,039,500	2,244,500
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	13,284,000	11,039,500	2,244,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	8,802,980	8,734,099	68,881
(うち特定資産への充当額)	(1,905,333)	(1,812,603)	(92,730)
正味財産合計	8,802,980	8,734,099	68,881
負債及び正味財産合計	22,086,980	19,773,599	2,313,381

正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日 から平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	127,000	125,000	2,000
受取会費			
正会員受取会費	13,461,500	13,281,000	180,500
賛助会員受取会費	1,860,000	1,905,000	△ 45,000
受取会費計	15,321,500	15,186,000	135,500
事業収益			
公 1	11,459,495	10,659,064	800,431
公 2	136,000	0	136,000
収 1	450	5,300	△ 4,850
事業収益計	11,595,945	10,664,364	931,581
受取負担金			
各研修会負担金	60,000	45,000	15,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	50,000	△ 50,000
雑収益			
受取利息	1,822	2,568	△ 746
雑収益	1,440,210	498,620	941,590
雑収益計	1,442,032	501,188	940,844
経常収益計	28,546,477	26,571,552	1,974,925
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,555,561	4,190,077	1,365,484
福利厚生費	821,223	586,302	234,921
旅費交通費	2,806,733	2,916,197	△ 109,464
通信運搬費	987,340	1,052,812	△ 65,472
消耗品費	1,038,500	892,510	145,990
修繕費	62,125	65,026	△ 2,901
印刷製本費	489,283	233,690	255,593
光熱水料費	59,045	43,677	15,368
賃借料	738,524	699,020	39,504
保険料	75,957	79,954	△ 3,997
諸謝金	7,415,541	7,246,994	168,547
租税公課	470,100	544,800	△ 74,700
支払負担金	15,994	25,429	△ 9,435
地代家賃	968,248	1,017,972	△ 49,724
委託費	358,128	457,500	△ 99,372
渉外費	45,777	54,982	△ 9,205
会議費	78,906	87,211	△ 8,305
雑費	64,656	51,015	13,641
事業費計	22,051,641	20,245,168	1,806,473

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	1,697,129	1,864,948	△ 167,819
福利厚生費	250,870	260,955	△ 10,085
会議費	156,429	123,196	33,233
渉外費	0	3,310	△ 3,310
旅費交通費	582,841	233,594	349,247
通信運搬費	192,643	184,270	8,373
消耗品費	158,844	79,693	79,151
修繕費	35,399	32,174	3,225
印刷製本費	754,553	2,074	752,479
光熱水料費	33,645	21,610	12,035
賃借料	1,222,287	210,068	1,012,219
保険料	43,281	39,554	3,727
諸謝金	88,888	5,000	83,888
租税公課	29,700	37,900	△ 8,200
支払負担金	9,114	8,311	803
地代家賃	551,768	503,664	48,104
委託費	610,646	560,520	50,126
雑費	7,918	5,519	2,399
管理費計	6,425,955	4,176,360	2,249,595
経常費用計	28,477,596	24,421,528	4,056,068
評価損益等調整前当期経常増減額	68,881	2,150,024	△ 2,081,143
当期経常増減額	68,881	2,150,024	△ 2,081,143
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	68,881	2,150,024	△ 2,081,143
当期一般正味財産増減額	68,881	2,150,024	△ 2,081,143
一般正味財産期首残高	8,734,099	6,584,075	2,150,024
一般正味財産期末残高	8,802,980	8,734,099	68,881
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,802,980	8,734,099	68,881

財産目録
平成31年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金	普通預金	手元保管	運転資金として	351,519
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.12300-15650791)	同上	402,203
定期預金	未収金	郵貯銀行/名古屋貯金事務センター (No.00870-9-57832)	同上	12,818,000
		静岡銀行/呉服町支店 (No.1285838)	同上	2,676,610
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-12)	同上	2,165,184
		静岡県 しずおか健康惣菜レシピ募集業務委託料	30年度委託料	1,100,000
貯蔵品	前払金	中央ヤクルト販売(株)他 25周年記念誌広告料	30年度広告料	100,000
		手元保管	郵便切手	24,736
前払金	仮払金	手元保管	栄養ケア・ステーションツール	6,084
		手元保管	2019年度保険料	119,238
		手元保管	繰越納付済源泉所得税額	39,270
流動資産合計				19,802,844
(固定資産)				
特定資産				
災害支援 積立預金	記念事業 積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-17)	災害支援として使用	50,006
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-19)	同上	50,005
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-23)	同上	50,000
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-03)	記念事業として使用	102,508
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-10)	同上	100,240
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-11)	同上	902,161
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-13)	同上	100,200
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-14)	同上	100,156
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-15)	同上	100,030
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-16)	同上	50,006
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-18)	同上	50,005
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-20)	同上	100,008
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-21)	同上	100,008
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-22)	同上	50,000
その他固定資産				
什器備品 電話加入権 敷金			パソコン 他	3
			#282-5507 他	72,800
			事務所家賃敷金	306,000
固定資産合計				2,284,136
資産合計				22,086,980
(流動負債)				
前受金 預り金			2019年度静栄会費	7,467,000
			2019年度静栄会費他	5,817,000
流動負債合計				13,284,000
固定負債合計				0
負債合計				13,284,000
正味財産				8,802,980

事業 年度	自	平成31年4月1日	法人コード	A005293
	至	令和2年3月31日	法人名	公益社団法人静岡県栄養士会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入れ先等を記載してください。

借入れの予定	なし		
事業番号	借入先	金額	用途
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定	なし		
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資産調達方法又は取得資金の用途
		円	

監査報告書

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井 厚 殿

平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日迄）の事業報告及び附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録及び附属明細書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

平成31年4月16日

公益社団法人 静岡県栄養士会

監事 秋谷 真志子 

監事 紅林 真佐代 

2019年度 公益社団法人静岡県栄養士会事業計画

I 基本方針

公益社団法人静岡県栄養士会は、すべての人の「正しい食生活の普及で、県民の美味健康を推進」との県民のニーズに応え、保健・医療・福祉・教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通し公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業計画を立てました。

今年度の事業内容の特徴

- ・ 少子高齢社会から生まれる国民への負担を、食と栄養の科学的知識の啓発をもって、多職種と連携し、社会貢献するための事業を実施します。
- ・ 重点項目実現のため、就労する管理栄養士・栄養士が皆会員となるよう、魅力的な事業を展開し、会員数増加による組織力強化を図ります。
- ・ 会員が習得した知識を、社会で十分に発揮できるような研修会や情報交換会を企画し、管理栄養士・栄養士が、より多くの国民・県民の支持を頂ける事業を推進します。
- ・ 自然災害での食支援体制の構築に向け、日栄DAT並びに県防災対策室との連携強化を図ると共に、会員の支援活動への理解を深める事業を実施します。

II 重点項目

- 1 県民の健康の保持増進を目的に、0歳児から高齢者までライフステージに応じた栄養管理を支援します。また、その技術を習得するための講演会・研修会・勉強会を開催します。
- 2 栄養ケア・ステーションでは、安心して安全、且つ効率的に健康保持増進に役立つ食に関する知識を提供する管理栄養士・栄養士を紹介します。
 - ・ 健康保険組合の特定保健指導の推進に連携協力し、県民のメタボリックシンドローム（生活習慣病）の予防に努める管理栄養士の紹介を引き続き実施します。
 - ・ 県内各地区の医師会との契約締結を推進し、生活習慣病の重篤化予防のための栄養食事指導を行う管理栄養士を紹介します。
- 3 県・市町健康づくり担当課等と連携し、県民の健康保持増進と疾病予防等の政策に協力します。
- 4 傷病者の病気回復、合併症予防、社会復帰支援等の病態栄養食事指導を行います。そのための最新情報の習得、科学的根拠に基づく食支援等の技術向上研修会を開催します。医療費の支出をできる限り減額とするための栄養管理と食支援を行います。
- 5 高齢者施設入所者の健康と身体機能の保持向上のため、高齢者個々人に合った栄養管理と食支援を目指します。介護保険料の支出を最小限に抑えるよう栄養管理と食支援を行います。また、その技術向上のための研修会を開催します。
- 6 関連職能団体との連携を深め、県民の健康保持増進と傷病者への支援、生活習慣病予防、高齢者の栄養管理など、県民が生きがいをもって生活できる社会の実現に資するための公益的な事業を推進します。
- 7 在宅療養者・居宅要介護者に対し、地域包括支援センターを中心とする関連職種と連携を図り、栄養管理と食支援の推進に努力します。
- 8 国・県・市町に対し、本会の目的である県民の食を介しての健康保持増進と健康寿命の延伸に資するため、必要な政策等の要望を提言します。
- 9 静栄DAT（災害支援チーム）組織強化のための会員研修・DATリーダー・スタッフの育成を推進します。

Ⅲ公益目的事業

公1	科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通し、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業
-----------	--

(1) 健康栄養知識普及事業

内 容	県内各市町で実施する健康まつり等のイベントで行う栄養教育全般(展示、栄養相談、講話等)について、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣することにより、望ましい食生活の知識普及や情報提供を行い、「食を通して人を育む」県民運動の推進に協力する。				
実施時期 ・回数	4月～2月 ・30回	会場	各市町保健センター等	参加予定人数	40,000人

(2) 健康づくり啓発協力事業

内 容	各種公共団体が実施する県民を対象とした講座・セミナー等に、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣し、食育を中心に、健康や食品に関する体験学習活動を実施し、健康づくりのための啓発事業に協力する。				
実施時期 ・回数	8月～3月 ・5～6回	会場	ツインメッセ等	参加予定人数	3,000人

(3) 在宅介護者への食生活支援事業

内 容	超高齢化が進む中で、病院等における在院日数の短縮等により在宅で療養する人が増加している。そこで、包括支援センター職員にも参加を呼び掛け、心身等に障がいのある在宅者や介護者のQOLの向上を目指し、適切な栄養管理を支援するための研修会を開催する。				
実施時期 ・回数	11月 ・1回	会場	未定	受講予定人数	40人

(4) しずおか健康惣菜レシピ募集業務【静岡県健康増進課委託事業】

内 容	静岡県は平成29年度から地域、企業、家庭における健康づくりを推進する「しずおか”まるごと”健康経営プロジェクト」を展開している。本業務委託は、社員食堂や弁当業者、スーパー等の惣菜において健康に配慮したメニューの提供を広めることにより、それらを多く利用している働き盛り世代が望ましい食生活を実現できるよう「しずおか健康惣菜レシピ」を募集し、本年度も同様の事業を行う。				
-----	--	--	--	--	--

(5) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

内 容	食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対し、栄養成分表示作成の説明と技術的な演習を行い、受講者が自ら栄養成分表示の作成ができるよう指導し、不適正表示を未然に防止する。 事業実施4年目となる。 ①中小食品関連事業者対象講習会の講話 県内3会場(東・中・西部 各1回) 対象者数:約150人 ②新しい原料原産地表示制度に関する講習会の実施 年2回(10月以降) 対象者数:約200名				
-----	---	--	--	--	--

(6) 富士宮食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

内 容	富士宮市の食文化の啓発を推進するため、市民対象に飲食店を活用したランチセミナーを市内健康づくり協力店にて開催し、地場産の食材の紹介や意義について周知し、理解を深めることとする。また、小学生対象に地場産の食材を通して食を科学し、自分自身でよりよい食生活について考え、実践できるようにするため、市内スーパーにて体験講座を開催し正しい食生活を学び、それとともに地場産の野菜等について興味や理解を深めてもらうように「地産地消体験ツアー」を3回実施する。				
実施時期	4月～2月	会場	市内マックスバリュ3店舗 健康づくり協力2店舗	事業開催回数	5回

(7) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	静岡県飲食業組合に加盟する店舗に対し、栄養成分表示の啓発と指導を行うことにより、県民の健康づくりや疾病予防の向上を図る。				
実施時期	5月～2月	会場	県内飲食店	実施予定店舗数	9店

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	静岡県教育委員会と連携し、県内の高等学校の生徒を対象に、健康の保持・増進と生活習慣病予防のため、『健康な食事』について考える冊子』を活用し、健康づくりに繋がるような講話と調理実習を行う。 また、一般県民を対象とした栄養相談等において『健康な食事』について考える冊子』を活用し、県民の健康増進の啓発を図る。				
実施時期	5月～2月	会場	静岡県内高等学校 10回	受講予定人数	300人

(9) 食べるから繋がる地域包括推進事業【静岡県健康増進課委託事業】

内 容	平成30年度に関係者による検討を行い作成する『食べる』から繋がる食支援ガイド』を元に、各地域で研修会等を開催する。 研修会等:主催年3回 他団体主催の研修会等を活用した説明 7回程度 対象者:地域包括支援センター職員、介護支援専門員をはじめ、医療介護関係者等				
実施時期	5月～2月	会場	県内3箇所と各健康福祉 センター7箇所管内	受講予定人数	300人

(10) 栄養ケア・ステーション推進事業

内 容	急速な高齢化や生活習慣の変化により疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。 このため、「健康日本21」に基づき、平成20年度から生活習慣病予防や保健指導等の実施に係る活動拠点として、全国の中でも、先進的に事業を進めている。事務局にコーディネーターを配置し、行政、医療機関、福祉施設、民間企業等から仕事を請け負い、登録会員に下記業務を提供しており、有料職業紹介事業所の資格も有している。 業務遂行のため、必要に応じて研修会を開催する。 ①特定保健指導 ②病態栄養食事指導 ③介護支援栄養指導 ④栄養相談、栄養指導 ⑤食育支援栄養指導(食育体験学習指導を含む) ⑥栄養価計算・成分表示指導 ⑦食や栄養に関する情報提供、資料作成				
-----	--	--	--	--	--

(11) 県民栄養調査に関する事業

内 容	県民の健康に関する様々な視点における栄養調査を実施し、結果をホームページ上に掲載する。 2019年度は、栄養調査の内容を検討する。				
-----	--	--	--	--	--

(12) 広報事業

内 容	栄養士に関わる法律等は、目まぐるしく変化している。それらの情報をいち早く収集し、会員及び県民に情報提供するため、静岡県栄養士会はホームページ、メールマガジンを充実させてきた。 今後は、より利便性を高めるためのシステムを構築することを検討していく。 県民に対して「『栄養士会』が何をしているところなのか、また、管理栄養士・栄養士の仕事を身近に感じてもらう」ことを周知できるような取り組みも検討し、社会認知、地位向上を図る。
-----	--

公2	県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業
----	---

(1) 定時総会講演会

内 容	年1回の定時総会の基調講演を開催する。 他職種にも参加を呼び掛け、国民の健康づくりの推進と資質向上、専門職としての自己実現、各職域の管理栄養士・栄養士が情報収集できる場を提供する。 介護系施設で料理療法を取り入れる動きが広がっているが、食材を切ったり、盛付けたりすると、脳が活性化し、認知症予防や心身機能の改善に効果があるといわれており、楽しい上に達成感があり、高齢者にも好評である。また、料理をすると脳の働きが活発になると研究でも明らかになっている。 料理は五感すべてを刺激する行為であり、料理療法という考え方や実践を学び、食を通じた健康支援の中で管理栄養士・栄養士として、社会問題や国民の健康の保持・増進に貢献できるよう努めたい。 講演内容：「料理の効用(料理療法という考え)と実践研究の実際 ～栄養士として、多職種(専門家)と、どのように連携し社会的問題に挑んでいくか、また前を向いて行くか～」 講師(案)：京都教育大学 湯川 夏子 先生				
実施時期・回数	6月1日	会場	あざれあ	受講予定人数	300人

(2) 栄養士交流会・フレッシュマン研修会

内 容	静岡県栄養士会の活動を知る。 資質の向上にむけた研修会申し込み方法などを理解。 同じ分野、年代を越えて活動する管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報共有。				
実施時期・回数	5月～12月 ・3回	会場	グランシップ等	受講予定人数	30人/回×3

(3) 静岡県栄養士大会(学術研究発表会及び交流会)

内 容	静岡県栄養士会独自の事業として、平成27年度より開催し、5回目となる。毎回種々な職場から100名を超える管理栄養士・栄養士が交流を図り、参加者からは良い刺激を受けたとの評価を得た。学会発表はハードルが高いと感じられる人には、本会からスタートし、自己研鑽を積み、質の高い管理栄養士・栄養士としてさらに飛躍するための場を提供する。 2019年度は更により多くの参加者を募り、会員の取り組みや成果を共有し、さらなる発展を目指す。				
実施時期・回数	2月	会場	中部地区	受講予定人数	120人

(4) 生涯教育基本研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持するための基本研修会を開催する。 栄養ケアプロセス等(講義及び演習)				
実施時期・回数	7月～1月 ・4回	会場	あざれあ等	受講予定人数	延べ 120人

(5) 生涯教育実務研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持するための実務研修会を開催する。				
	6月 「仮」地域包括ケアシステム」日本栄養士会理事 田中弥生先生				
	8月 「仮」食物アレルギー」昭和大学医学部小児科学講座 研究補助(管理栄養士) 小児アレルギーエデュケーター(PAE)長谷川実穂先生				
	9月 「仮」栄養ケアの役割」ちゅうざん病院 副院長 吉田貞夫先生				
	未定 「仮」腎臓病」				
	未定 第5回静岡県栄養士大会(学術研究会&交流会)				
実施時期 ・回数	6月～2月 ・8回	会場	あざれあ等	受講予定人数	60～120人/回×8

(6) 福祉寺子屋

内 容	2019年度は、基本的な業務の共有や、悩み相談・連帯の強化が図れるようなディスカッション・グループワークを行ってまいります。				
実施時期 ・回数	6月～10月 ・4回	会場	静岡県栄養士会 事務所	受講予定人数	20人/回×4

(7) 地区別健康づくり推進事業

内 容	<p>県内を9地区にわけ、各地区において小規模研修事業やイベントを企画運営し、地域に密着した県民の健康づくり支援を推進する。また、県内東部・中部・西部の3ブロックごとに研修会を開催し、会員の居住地の近いところで研修を受けることができるようにする。これにより、会員相互の情報交換、仲間づくりの機会とし、会員の継続入会や新規会員の増加をめざす。</p> <p>①東・中・西ブロック研修を企画・運営(年3回) ②各地区小規模研修を開催 ③地区別イベントの開催 ④県内で行われる大規模イベント等への出展協力 ⑤代表者会議やブロック別運営会議の開催 ⑥市町や県との事業への積極的参加により、栄養士会の理解及び周知</p>
-----	---

(8) 災害時栄養支援事業

内 容	<p>予想される南海トラフ巨大地震等災害発生時に備え、有事の際に直ちに県・市町に協力し活動できる組織(静栄DAT)の体制を強化するとともに、災害時における食支援に役立つ知識・技術の習得のための研修会を開催する。また、災害時には、関連職種との協働が重要であるため、日頃からの連携を深めるよう関連職能団体と合同で研修会を企画、開催する。</p> <p>①災害時栄養支援スタッフスキルアップ研修会開催 ②静栄DAT運営委員会開催 ③JDA-DATリーダー育成研修会・リーダースキルアップ研修会への受講勧奨 ④災害リハ合同研修会</p>
-----	--

IV収益事業

収1	販売等の事業
内 容	特定保健指導に使用するツール、書籍等の販売を行う。

V その他

(1) 事業部運営

① 職域事業部

職域事業部名	運 営 方 針
医 療	地域包括ケアシステムの構築を目指し、入院前からの支援や退院時に関係機関との連携を強化する。傷病者が安心して療養生活を送ることができるよう、施設内外でのチーム医療を推進する。回復期リハビリテーション病棟の栄養管理を検証し、摂食・嚥下食を確立させる。がんや食物アレルギーに関する政策に基づき、関連団体の活動に協力する。
学校健康教育	小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校において、学校給食の栄養管理と食に関する指導を通し、幼児、児童生徒、県民の健康増進、生活習慣病予防に寄与する。
勤労者支援	働く人々を健康にする社会の実現に貢献し、健康寿命延伸を推進する。一次予防・0次予防を推進し、健康で働く人々を増やし、元気な日本にするための仕組みをそれぞれの立場で一緒に提案していく。
研究教育	県内5つの養成校の連携をより密に図り、栄養士会に対する学術面のサポートおよび、栄養士会への学生の参加なども検討し、体制を整備する。
公衆衛生	生涯を通じた健康づくり・栄養改善推進のため、専門知識の普及に努め、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献することを目指す。
地域活動	県民の健康づくりを支援するため、毎年、本会は県、市、関係団体からの委託事業を請け、「食育」「生活習慣病の予防」「飲食店栄養成分表示」などの業務を実施しているが、地域活動事業部会員はその大事な担い手となっている。常に実践で活躍できる会員の育成を目指し、スキルアップ研修を企画、実施する。
福 祉	福祉事業に関する専門知識の向上を目指します。栄養だけでなく地域包括ケアに踏み込んでいける人材育成もしていきます。現場での基本的な栄養ケアをしっかりと行った上で、更に踏み込んで利用者の幸せを追求できるように、会員同士で切磋琢磨できる環境づくりを目指す。

② 研修部 運営方針

<p>各種研修会や講演会の企画・立案・実行等の運営及び調整(生涯教育基本、実務、演習等) 研修事業の情報共有・啓発活動 認定管理栄養士・栄養士の書類認定審査の確認 生涯教育の単位振替、自己研鑽の単位審査、修了証書の発行等</p>

③ 学術部 運営方針

<p>静岡県栄養士大会の企画・立案・実行等の運営及び調整</p>

④ 地区事業部 運営方針

各地区の実情に即した研修会を企画・実施し、会員の資質向上および会員間の連携・交流を図る。また、地域密着型のイベントを企画・開催することにより、公益法人として県民の健康長寿の延伸に寄与する。

- ①代表者会議において、9地区の企画・運営の調整
- ②多職種協働で、市町の利点を活かしたイベントに参加協力し、他職種との連携を強化する。
- ③研修事業部と協力するなど、各地区のニーズに合わせた参加しやすい研修会を企画する。
- ④会員増に向け、管理栄養士・栄養士の身近な情報発信を行う。

⑤ 静栄DAT 運営方針

災害時に、栄養支援活動の出来る職能団体としての資質を保持し続けるため、日本栄養士会が実施するJDA-DAT、県災害対策室とも連携強化を図る。

災害支援で活躍できる組織作りに取り組む。(現在登録スタッフは約150名)

県市町の地域防災計画が具体的に進む中、早急な対応が栄養士会にも求められており、今年度より、スタッフのスキルアップ研修会を開催する。

また、JDA-DATリーダー育成研修会への参加者増も積極的に進めていく。

⑥ 会員増対策委員会

数年来、会員数は減少傾向を示しているため、本年度も県内養成校および保健所と連携して、新卒者を対象とした事業を展開し、特に、栄養士(管理栄養士)登録時には、入会案内パンフを配付する取り組みについて、今年度も継続して実施する。

また、平成28年度から新規に交流会を開催するなど、魅力ある栄養士会、研修会となるように企画しているが、本年度は並行して会員の退会を減ずる取り組みを講じていく。

⑦ 顕彰選考委員会

多年にわたり栄養改善事業に尽力され、功績があった会員が受賞から漏れることが無く、多くの会員に受賞していただくため、平成29年度「顕彰選考委員会」を発足させた。現行の静岡県栄養士会表彰規(平成11年5月17日施行・平成11年1月30日一部修正)の改定に向け、他県栄養士会との歩調を合わせながら、表彰候補者推薦規定として整備し、表彰候補者の抽出、推薦方法、推薦委員会の役割等を検討する。

表彰の種類は多く、静岡県栄養士会会長表彰、日本栄養士会会長表彰はもとより、静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰、公衆衛生事業功労表彰等々多くの顕彰候補推薦依頼がある。

(ii) 関連団体会議への委員等就任

① 静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、静岡県の健康増進計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

② 静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を阻害する要因である糖尿病等の生活習慣病の該当者、予備群の減少を目指し、地域保健・職域保健関係機関との総合調整を図り、特定健診・特定保健指導のより効果的・効率的な実施について協議する。

③ 静岡県がん診療連携協議会支持療法部会

主催者	静岡県立静岡がんセンター
内容	国は、拠点病院等における医療従事者間の連携を更に強化にするため、カンサーボードへの他職種の参加を促しており、専門チーム(緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等)により、一人ひとりの患者に必要な治療やケアに関し連携強化を図るよう環境整備を推進している。 静岡県のがん診療拠点病院における協議会の「相談支援」「緩和ケア」「支持療法」の3つの部会の中の「支持療法部会」に委員として参加している。

④ 静岡県男女共同参画推進会議

主催者	静岡県くらし・環境部男女共同参画課
内容	家庭や地域、学校、職場等、社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組をより強化するために、民間団体の主体的な取組を推進するためのネットワーク組織である。 会議には、男女共同参画の趣旨に賛同する80の民間団体が加入し、研修会などの自主的な取組を行っている。

⑤ 静岡市食育推進会議

主催者	静岡市健康づくり推進課
内容	食育基本法に基づき、静岡市食育推進計画の推進及び進行管理のため、市民や食育の推進に関係する団体が参加して協議する。

⑥ 静岡市在宅医療・介護連携協議会 部会

主催者	静岡市高齢者福祉課
内容	静岡市の在宅医療及び在宅介護の連携の推進に関する事業計画の策定にあたり、必要な情報交換を行うとともに、計画に基づく取り組みを継続的に推進する。

⑦ 静岡県8020推進住民会議

主催者	静岡県8020推進住民会議(事務局:静岡県歯科医師会)
内容	静岡県条例に基づき、8020推進運動をとおして、県民の健康な生活を確保し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に寄与するため、8020推進員の育成及び様々な8020運動の普及啓発活動を実施する。

⑧ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

主催者	静岡県健康福祉部長寿政策課
内容	県民が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるよう地域包括ケアシステムの構築を実現するため、医療・介護をはじめとする専門職の連携を強化している。 市町における地域包括ケア推進体制の整備に繋げるため、地域包括ケア推進に関わりのある団体が意見交換する。

⑨ しずおか健康いきいきフォーラム21

主催者	公益財団法人 しずおか健康長寿財団
内容	県民が心身共に健やかに暮らすことができる“ふじのくに”づくりに向け、県民総参加の「健康づくり県民運動」の推進を図り、県民の健康増進に寄与するため、県民への健康づくりに関する普及啓発活動や各種団体の交流、研修事業等を行う。

公益社団法人静岡県栄養士会2019年度収支予算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計		法人会計	内部取引 控除	合計	備 考
	公1	公2	共通	小計	収1				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									経常収益計 26,226,000円
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	◆公益目的事業 26,557,000円
中科目別配載	0	0	0	0	0	0	0	0	I 公1経常収益計 10,512,000円
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	1 事業収益 10,512,000円
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1) しずおか健康栄養士会 専業業務(県委託) 1,100,000円
受取入会金	0	0	60,000	60,000	0	60,000	0	0	2) 食べから健康から地域包括推進事業(県委託) 1,000,000円
受取人會金	0	0	60,000	60,000	0	60,000	0	0	3) 食品表示適正化・活用普及事業(県委託) 800,000円
受取會費	0	0	9,780,000	9,780,000	0	9,780,000	0	0	4) 外食栄養成分表示推進事業(富士宮市フードハレ協委託) 500,000円
正會員受取會費	0	0	7,980,000	7,980,000	0	7,980,000	0	0	5) 飲食店等の栄養成分表示推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 350,000円
賛助會員受取會費	0	0	1,800,000	1,800,000	0	1,800,000	0	0	6) 元氣を見つめる外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 990,000円
事業収益	10,512,000	0	0	10,512,000	10,000	40,000	0	10,562,000	7) 栄養ケア・トレーニング推進事業 5,500,000円
栄養改善、健康づくり等事業収入	3,400,000	0	0	3,400,000	0	0	0	3,400,000	9) 広告掲載収入 272,000円(バナー一広告料)
疾病予防、食生活改善及び食育等事業	1,340,000	0	0	1,340,000	0	0	0	1,340,000	2 雑収益 0円
栄養ケア・プログラム他販売事業	5,500,000	0	0	5,500,000	10,000	40,000	0	5,510,000	II 公2経常収益計 205,000円
広告掲載料収入	272,000	0	0	272,000	0	40,000	0	312,000	1 受取負担金 60,000円
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	受取料@2,000円×30人(静栄DATスタッフ養成研修会)
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	2 雑収益 145,000円
受取負担金	0	60,000	0	60,000	0	0	0	60,000	展示コマ代 @5,000円×29社
受取負担金	0	60,000	0	60,000	0	0	0	60,000	(地区研修2社、プロック研修3社、栄養士大会12社
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	生涯教育基本3社、生涯教育実務8社、災害時栄養支援研修1社)
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	III 共通 9,840,000円
雑収益	0	145,000	0	145,000	0	0	0	145,000	1 受取入会金 60,000円(新入会員@1,000円×60人)
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	2 受取會費 9,780,000円(正會員費 7,980,000円、賛助會費 1,800,000円)
雑収益	0	145,000	0	145,000	0	0	0	145,000	◆収益事業経常収益計 10,000円
経常収益計	10,512,000	205,000	9,840,000	20,557,000	10,000	5,659,000	0	26,226,000	販売等の専業 10,000円

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計		法人会計	内命取引控除	合計	摘要
	公1	公2	共通	小計	収1				
(2)経常費用									
事業費	18,322,118	3,980,074	0	22,302,192	163,924	163,924	0	22,466,116	経常費用計 2,691,500円
材料費	0	0	0	0	1,000	1,000	0	1,000	◆公益目的事業 22,302,192円 I 公益経常費用計 18,322,118円
給料手当	3,399,150	748,200	0	4,147,350	45,150	45,150	0	4,192,500	1)健康栄養知識普及事業 924,440円 2)健康づくり啓発協力事業 517,220円
福利厚生費	716,720	157,760	0	874,480	9,520	9,520	0	884,000	3)在宅介護者への食生活支援事業 151,924円 4)しずおか健康野菜レンジ業務(県委託) 1,362,640円
会議費	0	95,000	0	95,000	0	0	0	95,000	5)食べるから驚がる地域包括推進事業(県委託) 1,091,924円 6)食品表示適正化・活用普及事業(県委託) 1,109,846円
旅費交通費	1,320,750	1,542,000	0	2,862,750	7,000	7,000	0	2,869,750	7)富士宮食文化推進プロジェクト事業(富士宮市フードハレー協委託) 623,510円 8)飲食店等の栄養成分表示定着促進事業(生活衛生営業指導センター委託) 557,970円
通信運搬費	974,350	123,300	0	1,097,650	6,300	6,300	0	1,103,950	9)元気を思いつめる外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 1,260,796円 10)栄養ケア・メニュー推進事業 8,315,870円
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	11)国民栄養調査に関する事業 111,924円 12)広報事業 2,294,054円
研究研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	II 公益経常費用計 3,980,074円
消耗品費	1,145,370	254,910	0	1,400,280	3,010	3,010	0	1,403,290	1)定時総会講演会他各種研修会 1,952,930円 2)地区別健康づくり推進研修会 1,045,834円
修繕費	80,028	16,029	0	96,057	819	819	0	96,876	3)生涯教育基本研修会 565,876円
印刷製本費	154,840	1,370	0	156,210	70	70	0	156,280	4)災害時栄養支援研修会 415,434円
広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	◆収益事業費用計 163,924円 販売等の事業 163,924円
光熱水料費	61,560	12,330	0	73,890	630	630	0	74,520	◆法人会計経常費用 4,448,884円
賃借料	549,150	221,200	0	770,350	4,200	4,200	0	774,550	
地代家賃	1,040,364	208,377	0	1,248,741	10,647	10,647	0	1,259,388	
諸謝金	8,315,920	510,685	0	8,826,605	35	35	0	8,826,640	
租税公課	293,436	58,773	0	352,209	74,003	74,003	0	426,212	
保険料	82,080	16,440	0	98,520	840	840	0	99,360	
渉外費	6,840	1,370	0	8,210	70	70	0	8,280	
支払前付金	0	0	0	0	0	0	0	0	
委託費	120,000	0	0	120,000	0	0	0	120,000	
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	61,560	12,330	0	73,890	630	630	0	74,520	

科目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		合計	内部取引控除	法人会計	摘要
	公1	公2	共通	小計	収1	小計				
管理費							4,448,884	0	4,448,884	
役員報酬							0	0	0	
給料手当							2,257,500	0	2,257,500	
退職給付費用							0	0	0	
福利厚生費							476,000	0	476,000	
会議費							230,000	0	230,000	
旅費交通費							172,000	0	172,000	
通信運搬費							154,800	0	154,800	
減価償却費							0	0	0	
消耗品費							73,960	0	73,960	
修繕費							20,124	0	20,124	
印刷製本費							1,720	0	1,720	
広報費							0	0	0	
光熱水料費							15,480	0	15,480	
賃借料							103,200	0	103,200	
地代家賃							261,612	0	261,612	
諸謝金							860	0	860	
租税公課							73,788	0	73,788	
保険料							20,640	0	20,640	
交際費							1,720	0	1,720	
委託費							570,000	0	570,000	
有価証券運用損							0	0	0	
雑費							15,480	0	15,480	
経常費用計	18,322,118	3,980,074	0	22,302,192	0	163,924	4,448,884	0	26,915,000	

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計			法人全計	内部取引控除	合 計	備 考
	公1	公2	共通	小計	取1	小計					
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,810,118	△ 3,775,074	9,840,000	△ 1,745,192	△ 153,924	△ 153,924				
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期経常増減額	△ 7,810,118	△ 3,775,074	9,840,000	△ 1,745,192	△ 153,924	△ 153,924	1,210,116	0	△ 689,000		
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期一般正味財産増減額	△ 7,810,118	△ 3,775,074	9,840,000	△ 1,745,192	△ 153,924	△ 153,924	1,210,116	0	△ 689,000		